

# 第29期 報告書

2024年7月1日 ▶ 2025年6月30日

日本システムバンク

証券コード 5530



代表取締役社長

野坂 信嘉

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における我が国の経済は、消費マインドの停滞による足踏み傾向が一部見られたものの、雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復が継続しております。一方で、物価上昇の継続や金融政策の動向、海外経済の先行き懸念等の影響による我が国の経済への下押し圧力等については、引き続き注視が必要な状況です。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、経済の緩やかな回復が商業施設や繁華街、オフィス街等への外出機会を増やし、駐車場の堅調な稼働を支えました。一方で、昨今における物価や人件費、地価の上昇に伴い、駐車場の開設及び運営にかかるコストは増加しており、これらの価格転嫁を目的とする駐車料金の見直しが全国的に進みました。

このような環境のもと、当社グループは、コインパーキング運営事業者に対する駐車場機器の販売を中心に売上の拡大を図りつつ、収益性の高い物件を厳選して直営駐車場の開設を進めました。特に、直営駐車場においては、駐車スペースがフラットで駐車や乗り降りがしやすいフラップレス式駐車場の推進や、料金精算時に硬貨詰まりなどのトラブルが起らないキャッシュレス決済への対応など、利用者が安心して使える駐車場づくりに努めました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は7,876,897千円（前連結会計年度比3.4%増）、営業利益は426,209千円（同22.5%減）、経常利益は416,305千円（同22.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は247,048千円（同15.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## a. コインパーキング事業

コインパーキングの運営ビジネスにおきましては、安定的な収益が見込まれる郊外住宅地を中心に駐車場・駐輪場の開設を進めました。特に、当社グループが除雪対応等で強みを発揮できる北陸・北海道・東北での開設に注力しました。これにより、直営駐車場・駐輪場の件数は純増となりましたが、大型駐輪場の解約の影響から車室数は横ばいとなりました。既存の駐車場・駐輪場においては、周辺環境の変化に応じた駐車料金の見直しを行いつつ、キャッシュレス決済への対応など利用者の利便性向上につながる設備の普及を進めることで、収益力の向上に努めました。

駐車場機器の販売・保守ビジネスにおきましては、駐車場機器の販売数が前連結会計年度を大きく上回ったことに加え、新紙幣や新硬貨への対応を一旦見合わせていた既存駐車場において、後追いで設備の改修・入替需要が見られました。一方で、大口顧客の解約の影響により、管理受託駐車場・駐輪場の件数は純減となりましたが、商業施設の駐輪場の管理を複数受託したことにより、車室数は増加しました。

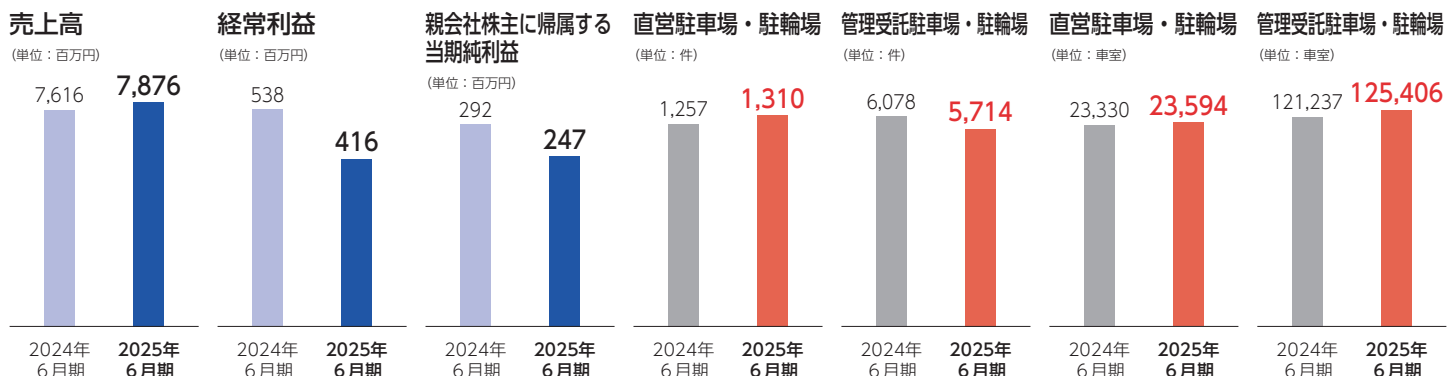
その結果、売上高は7,749,556千円（前連結会計年度比3.6%増）、セグメント利益は915,796千円（同11.3%減）となりました。

## b. プロパティマネジメント事業

当連結会計年度においては、所有物件の売却に伴う入居者の退去等があった結果、売上高は112,306千円（前連結会計年度比14.7%減）、セグメント損失は6,972千円（前連結会計年度は6,593千円のセグメント利益）となりました。

2025年9月

## 財務ハイライト



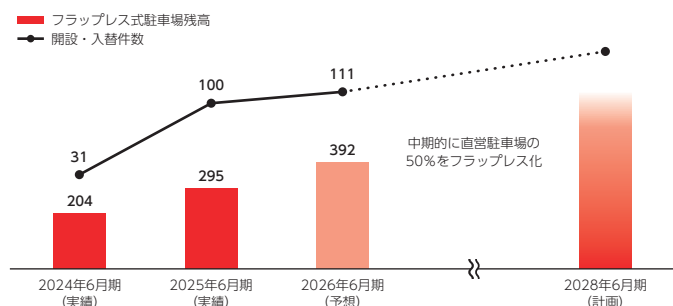
## 駐車場・駐輪場の件数及び車室数

## 安全・安心・快適な駐車場づくり「3つの“Less”」の現状と見通し

## FlapLess フラップレス

フラットで広スペース、自然災害にも強く、利用者に安全性と安心感を提供するフラップレス式駐車場を推進。  
直営駐車場を中心に積極的に導入を進めたことで、直営駐車場全体の約4分の1がフラップレス式駐車場化

## 直営駐車場におけるフラップレス式駐車場の推移

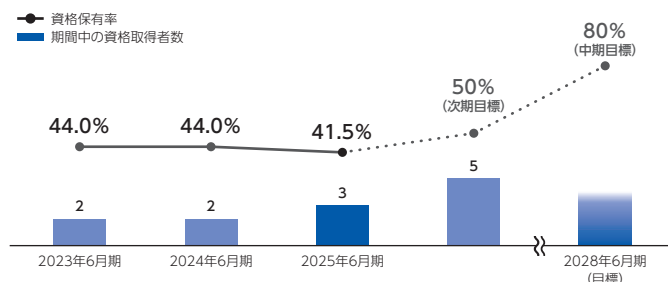


## StressLess ストレスレス

利用者・オーナーの双方にとってストレスのない安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、社員教育を強化。  
日常の保守点検を担うメンテナンススタッフにおいて、新たに3名が第二種電気工事士資格を取得

## 第二種電気工事士の資格保有率の推移※

※ メンテナンススタッフに占める有資格者の割合

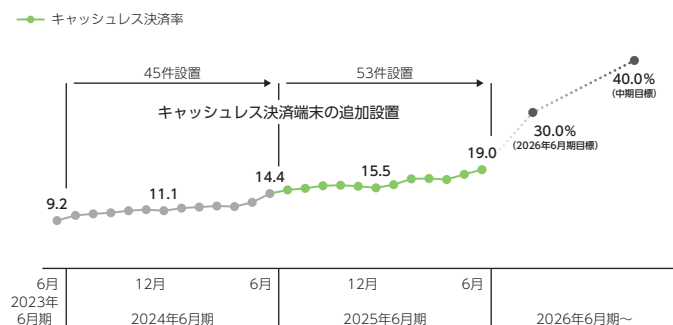


## CashLess キャッシュレス

駐車料金のキャッシュレス決済システムの導入を推進し、利便性向上とともに決済時のトラブルを削減し、安心感を提供。  
直営駐車場・駐輪場におけるキャッシュレス決済率は順調に増加し、19%に到達

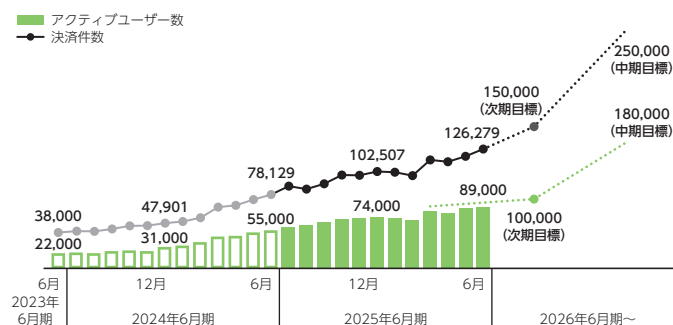
## キャッシュレス決済率の推移※

※ 直営駐車場・駐輪場の売上高に占めるキャッシュレス決済額の割合



駐車場検索・決済アプリ「SmooPA」は決済件数が順調に増加する一方、アクティブユーザー数の伸びはやや低調となり、月間の決済件数は12.6万件とほぼ計画通り、アクティブユーザー数は目標12万人に対し8.9万人と未達

## SmooPAのアクティブユーザー数及び決済件数



## トピックス

## IR活動

## 名証IRエキスポ2025に出展



2025年9月5日（金）・6日（土）の2日間、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて開催されたイベントに出展いたしました。

計10,000名の投資家の方々が来場され、当社ブースにも多数の方にお越しいただき、当社の経営目標や事業戦略などのより充実した情報をお伝えいたしました。

社長自らが説明する時間も設け、投資家の皆様からのご質問も伺い、直接の対話を通じて当社の魅力などをお伝えできたと考えております。

## お知らせ

## 株主優待品をお送りいたします

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高めることを目的に株主優待制度を導入いたしました。

初回基準日（2025年6月30日）における株主様を対象とした優待内容は、初回基準日における保有株式数に応じてQUOカードを進呈いたします。

なお、株主優待品のQUOカードは、第29回定時株主総会終了後に発送する、「定時株主総会決議ご通知」に同封して送付いたします。

| 保有株式数（株式分割前） | 優待内容          |
|--------------|---------------|
| 100株以上       | QUOカード2,000円分 |
| 200株以上       | QUOカード4,000円分 |

## 従業員持株会 設立



2025年2月、従業員の経営への参画意識の向上及び福利厚生の充実を図ることを目的とし、日本システムバンク従業員持株会を設立いたしました。

従業員が自社株式を保有することで、会社の経営や業績に対する関心が高まり、日々の業務に対する責任感や貢献意識の向上が期待されます。

また、会社が奨励金の支給を行い、従業員の資産形成を支援することで、従業員のエンゲージメントの向上が期待できます。

その他、長期的に株式を保有する安定株主としての役割を果たすことにもつながるため、本持株会は持続可能な成長を目指す体制づくりに寄与するものと考えております。

